

平成 25 年度当初予算 施策別取組概要

**254 農山漁村の振興**

( 主担当部局 : 農林水産部 )

25401	安全・安心な農山漁村づくり	( 農林水産部 )
25402	獣害につよい農山漁村づくり	( 農林水産部 )
25403	人や産業が元気な農山漁村づくり	( 地域連携部 )
25404	農業の多面的機能の維持増進	( 農林水産部 )
25405	水産業の多面的機能の維持増進	( 農林水産部 )

**平成 27 年度末での到達目標**

これまでの農山漁村の地域づくりや都市農村交流の促進などの取組の発展をとおして、農林水産業をはじめ豊かな地域資源を生かした地域の産業が活性化され、地域を訪れる人びとが増加しています。また、農林水産業の鳥獣被害が軽減されるなど安全・安心な農山漁村づくりや資源保全活動が積極的に進められ、農山漁村地域の活力向上につながっています。

**施策の数値目標**

**県民指標**

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
農山漁村地域の交流人口	目標値	-	5,160 千人 (23 年度)	5,230 千人 (24 年度)		5,370 千人 (26 年度)
	実績値	5,086 千人 (22 年度)				

各指標の H23 年度数値は現状値

**目標項目の説明**

農山漁村地域において、農山漁村の暮らしや食文化、農林水産業等を身近に体験することのできる主要な施設の利用者数

**活動指標**

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
生活環境を整備する農山漁村集落数 ( 累計 )	目標値	-	4 集落	8 集落		18 集落
	実績値	2 集落				
野生鳥獣による農林水産被害金額	目標値	-	728 百万円 (23 年度)	698 百万円 (24 年度)		600 百万 円以下 (26 年度)
	実績値	751 百万円 (22 年度)				
「いなかビジネス」の取組数	目標値	-	125 件	130 件		170 件
	実績値	108 件				

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
農村の資源保全活動対象集落数	目標値	-	460 集落	500 集落		500 集落
	実績値	424 集落				
藻場・干潟等の保全活動対象面積	目標値	-	273ha	278ha		290ha
	実績値	268ha				

各指標のH23年度数値は現状値

### 進捗状況（現状と課題）

- ・ 中山間地域の豊かな地域資源を生かし、都市との交流や、所得の向上、雇用機会の拡大につなげる「いなかビジネス」の創出に向け、活動団体に対する研修会等での情報提供や、交流イベント情報の発信などとともに、設定した先進取組地区における活動を支援しています。10月末時点で、都市との交流などを中心とする「いなかビジネス」に取り組む団体は、111団体（3月末時点108団体）に増加しましたが、一層の取組集落の拡大とともに、それぞれの経済活動の取組における商品力の強化などの質的向上が課題です。
- ・ 農業・農村の地域資源の高付加価値化に向けた自立的な取組の促進を図る「地域活性化プラン」については、市町、農協等との支援チームにより、前年度に策定された52プランの実践支援や、新たなプラン策定に向けた53地域での支援に取り組んでいます。プランの実践により新たに創出された産物や商品の販路開拓を円滑に進めることが課題となっています。
- ・ 農村地域における利便性の向上や生活環境の改善に向け、農道（13地区）や集落排水施設（10地区）の整備に取り組んでおり、引き続き、地域の合意に基づき、計画的に整備を進めることが課題です。
- ・ 獣害対策については、「獣害対策に取り組む集落」を、新たに9集落育成（10月末時点で累計134集落）するなど「獣害につよい地域」づくりとその拡大に取り組んでいます。各集落におけるリーダーの確保・育成と組織体制の整備が課題です。
- ・ 野生鳥獣の捕獲力強化に向け、新たな大量捕獲用の「シカ専用のドロップネット」7基を5地区に導入し、うち1地区では、町との連携によりモデル的に実証試験を行っています。また、新たに2市において鳥獣被害対策実施隊が設置されました（10月末時点で計22市町で設置）。捕獲力の強化にあたっては、ニホンジカ以外の大量捕獲技術の開発、実施隊の捕獲能力の向上、捕獲体制の広域連携などが課題です。
- ・ 獣肉等の利活用の促進に向け、外食事業者等と連携して、供給体制、商品開発、販路拡大を一体的に取り組み、シカ肉を活用したコロケ入りカレーなどを商品化しました。解体処理施設の整備については、1か所で既に整備が完了し、年内に1か所で整備が完了する予定です。今後はさらなる商品化に向けた取組や、衛生管理を含む供給体制の整備が課題です。
- ・ 農業の多面的機能の維持増進に向けた「農地・水・環境保全向上対策事業」の活用により、502集落の16,712ha（昨年度は424集落、15,108ha）において、農地等の保全活動を支援しています。地域資源を活用した農産品等の地域内販売など、経済活動に取り組み始めた地区もありますが、まだ、持続的に発展していける状況にはありません。
- ・ 中山間地域における農業生産活動への支援を進める「中山間地域等直接支払制度」により、230集落の1,668ha（昨年度は223集落、1,618ha）の農地において、耕作の継続、地域の多面的機能の維持が図られています。集落内の農業者だけでは耕作の継続が困難な集落において、営農等の広域的なサポート体制の整備に取り組んでいます。十分な体制が整ったとはいえない状況です。

- ・ 水産業の多面的機能の維持増進に向け、干潟や藻場の保護活動について、9市町において、漁業者を中心とした18の活動組織で取り組まれており、海藻種苗の投入やウニなどの藻類食害生物の除去等の活動が漁業者や地域住民などさまざまな方々の参加(1,411人)のもと取り組まれました。また、企業の社会貢献活動と連携して干潟再生を図る取組が始まっており、これらの活動と連携させて新しい経済活動につなげていくことが課題です。

## 平成25年度の取組方向

### 農林水産部

- ・ グリーン・ツーリズムや「いなかビジネス」の取組地区の拡大に向け、都市や企業と地域との交流を進める人材の育成や、広報誌「三重の里いなか旅のススメ」、ホームページなどのさまざまな広報媒体による情報発信などに取り組めます。また、活動団体における取組の質的向上を図るため、引き続き、商品力等の強化に向けた専門家の派遣、マーケティングに係る研修会の開催、企業等との連携による新たな経済活動への支援などに取り組めます。
- ・ 「地域活性化プラン」の策定地域の拡大と継続的な実践支援に、農業者等の意欲醸成を図りつつ、市町・農協等との連携のもとで、取り組めます。また、地域の状況に応じて販路開拓につながる新たな地域リーダー等のスキルアップを促していきます。
- ・ 農村地域の快適性や利便性を確保するための生活環境、農業の生産性向上のための基盤整備に取り組めます。特に、生活排水処理施設については、地域の合意形成を促すことにより、整備の円滑化を図ります。
- ・ 「獣害につよい地域」づくりとその拡大に向け、市町と一体となり、集落の取組を推進するためのリーダーの確保・育成や体制の構築などに取り組めます。
- ・ 捕獲力の強化に向け、市町、企業等と連携した二ホンザルの大量捕獲技術の開発や、地域における捕獲スキルの向上、捕獲体制の整備・強化や広域連携に取り組めます。
- ・ 獣肉等の利活用を促進するため、「みえフードイノベーションネットワーク」を活用した企業等とのマッチングによる新商品の開発や、「みえジビエ品質管理マニュアル」を遵守した解体処理から加工流通までの施設整備の支援など、獣肉の処理・供給体制づくりを進めます。
- ・ 「農地・水・環境保全向上対策事業」の実施を通じて、農業・農村の多面的機能の維持増進につながる取組を継続的に発展させ、学校やNPOとの連携による地域コミュニティの活動や、地域資源を活用した収入増加につながる経済活動の取組を支援します。
- ・ 「中山間地域等直接支払制度」の実施集落等の取組状況について中間年評価を行い、地域の課題の明確化と課題に対応するための取組を支援します。さらに、集落内の農業者だけでは農地を維持することが困難な集落において、営農の広域的な連携によるサポート体制の構築に向けた取組を促進します。
- ・ 藻場・干潟等が持つ水産資源の保護・増大や水質浄化機能等の多面的機能を発揮させるため、国、市町、企業等と連携して、地域が主体となった藻場・干潟等の保全・再生活動を促進し、地域資源を活用した経済活動の創出につなげます。

### 地域連携部

- ・ 企業のCSR(社会貢献)活動や企業と地域の連携活動などを支援することにより、多様な主体が農山漁村を支えていく仕組みづくりに取り組むほか、子ども達が農山漁村を体験するために必要な態勢整備を支援することにより、都市等との人・もの・情報の交流を促進するなど、農山漁村地域の活性化を図ります。

## 主な事業

### 農林水産部

すごいやんか三重のいなかビジネス展開事業【基本事業名：25403 人や産業が元気な農山漁村づくり】

予算額：(24) 7,409千円 (25) 6,714千円

事業概要：農山漁村地域の雇用の場や所得機会の確保、農林漁業者の生きがづくりなどにつなげるため、地域の豊かな資源を活用したモデルビジネスの取組を支援することにより、地域の自立・発展が可能となるような「いなかビジネス」の取組の拡大を図ります。

県営中山間地域総合整備事業【基本事業名：25401 安全・安心な農山漁村づくり】

予算額：(24) 675,000千円 (25) 1,313,350千円

事業概要：農業の生産条件が不利な中山間地域の実情を踏まえ、それぞれの地域の立地条件に適した農業基盤や、農村生活環境等の整備を総合的に推進します。

農村地域自然エネルギー活用推進事業【基本事業名：25401 安全・安心な農山漁村づくり】

予算額：(24) 3,500千円 (25) 45,500千円

事業概要：農業用施設での発電電力使用による環境保全型農業による地域活性化、自立分散型電源確保に寄与するため、農村地域において農業用水等を利用した小水力発電等の施設整備の促進を行います。

(一部新) 獣害につよい地域づくり推進事業【基本事業名：25402 獣害につよい農山漁村づくり】

予算額：(24) 759,299千円 (25) 759,136千円

事業概要：集落の取組を推進するためのリーダーの確保・育成や組織化など、獣害につよい地域づくりを、市町等と連携しながら総合的に進めます。

(一部新) 地域捕獲力強化促進事業【基本事業名：25402 獣害につよい農山漁村づくり】

予算額：(24) 23,434千円 (25) 35,363千円

事業概要：野生鳥獣の個体数調整を進めるための大量捕獲技術の開発や、地域における捕獲技術の向上、捕獲体制の整備・強化や広域連携を進めます。

みえの獣肉等流通促進事業【基本事業名：25402 獣害につよい農山漁村づくり】

予算額：(24) 12,810千円 (25) 13,495千円

事業概要：捕獲した野生鳥獣を地域資源と捉え有効活用していく取組を促進するため、獣肉の品質や量の確保、施設整備の支援、新しい商品の開発や販売の推進など、獣肉の処理・供給体制の整備を進めます。

農地・水・環境保全向上対策事業【基本事業名：25404 農業の多面的機能の維持増進】

予算額：(24) 183,000千円 (25) 183,000千円

事業概要：地域コミュニティの機能向上とともに、地域資源を有効活用した商品化やサービスの展開など経済活動の創出を促進するため、農業用水や、自然景観、生態系など、農村資源の保全に向けた地域における住民や学校、NPOなどさまざまな主体との連携による取組への支援を行うことにより、農村の地域資源を保全していく取組の発展や自立化につなげます。

中山間地域等直接支払事業【基本事業名：25404 農業の多面的機能の維持増進】

予算額：(24) 197,725千円 (25) 197,666千円

事業概要：耕作放棄地の発生を防ぎ、農業・農村の多面的機能の維持・増進を図るため、中山間地域等における農業の生産条件の不利性を補正する農家への直接支払いを実施するとともに、耕作の維持に向けた広域的なサポート体制の構築を図ります。

水産多面的機能発揮対策事業【基本事業名：25405 水産業の多面的機能の維持増進】

予算額：(24) 6,587千円 (25) 7,500千円

事業概要：水産業・漁村の多面的機能を効果的に発揮させるため、漁業者を中心にした活動組織が取り組む水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する活動に対し支援します。

#### 地域連携部

三重のふるさと応援カンパニー推進事業【基本事業名：25403 人や産業が元気な農山漁村づくり】

予算額：(24) 7,549千円 (25) 2,578千円

事業概要：企業のCSR（社会貢献）活動と農山漁村地域を結びつけることで、両者にメリットが生まれるより良い関係をつくっていくため、マッチングの推進を支援するほか情報発信や意見交換を通じて取組の拡大を図ります。